

北海道強靱化アクションプラン2021（案）の概要

北海道強靱化計画の概要

- ・ 2015年3月、国土強靱化法に基づく地域計画として策定。3つの目標と21のリスクシナリオを設定し、そのリスクを回避するための施策を推進。
- ・ 2020年3月、これまでの取組結果や近年の自然災害から得られた教訓などを踏まえ改定。リスクの追加や強靱化施策の充実・強化を追加。

1 北海道強靱化アクションプラン2021のポイント

北海道強靱化アクションプラン	「北海道強靱化計画」の着実な推進を図るため、向こう1年間の具体的な施策の推進方策を示すものとして、毎年度策定。
----------------	---

(1) 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の着実な実施

これまでの河道掘削などの治水対策に加え、新たに対象となった「道路ネットワークの機能強化対策」や「道路施設の老朽化対策」などに取り組む。

【2021年度の主な対策内容】

分野	対策内容	分野	対策内容
河川	河道掘削、堤防整備、遊水地の整備等	農業	農業水利施設の老朽化対策等
砂防	砂防堰堤の整備、地すべり防止施設の整備等	漁港	防波堤等の強化
海岸	堤防高確保対策や消波施設の整備等	治山	治山施設の整備等
道路	道路ネットワーク機能強化対策や老朽化対策等	森林	間伐等の森林整備及び林道の整備・強化等

(2) 激甚化する風水害や切迫する巨大地震等への対応と感染症対策の強化

「南海トラフ地震特別措置法」と同等の財政支援を国に求めていくほか、避難所において、新型コロナウイルスを含めた感染症対策の充実強化などに取り組む。

(3) 市町村強靱化地域計画の内容充実にに向けた支援

マニュアルの充実や市町村への個別訪問を通じ、地域に必要な強靱化施策や事業を計画に反映できるよう、市町村における地域計画の内容充実にに向けた支援を行う。

2 北海道強靱化計画の点検結果

- ・ 国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用しながら、河川の治水対策や道路の法面对策などを着実に実施
- ・ 津波浸水想定の設定に向けた検討などの日本海溝・千島海溝地震への対応
- ・ 「北海道版避難所マニュアル」の改正など、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた取組の推進

3 推進方策

- ・ 自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服
- ・ 国全体の強靱化に貢献するバックアップ機能を発揮
- ・ 北海道の強靱化、全国の強靱化を支える交通ネットワーク整備

4 地域における施策展開の主な取組

地域特性を踏まえた6地域（道南、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室）ごとの取組を記載。